20260926 道北（富良野）

カヌー4年目 部員と全国へ

南富良野高顧問・広島さん

【南富良野】南富良野高カヌー部顧問の広島晶さん(25)が、10月15～18日に青森県で開かれる第80回国民スポーツ大会（国スポ）のカヌー競技に初めて出場する。2023年に同校に着任した当時、カヌー経験はなかったが、顧問として競技や指導法を学び、生徒と一緒に練習を重ね、生徒10人とともに国スポの切符をつかんだ。

苫小牧市出身の広島さんは、小学校から大学まで柔道に打ち込み、同校に着任するまで「カヤックを見たこともなかった」という。部を預かる立場として、競技動画を毎日見てフォームやレースを学び、他校の顧問に助言を求め手探りで指導にあたった。

さらに、机上の理解だけでは生徒を導けないと週5日、カヤックに乗り、落水を繰り返しながら生徒とともに練習を続けた。「新入部員のほとんどが未経験者。競技を知らない生徒と同じ目線で教えられるのが強み」と話す。

24年から国スポ北海道予選に出場。今年7月に苫小牧で行われた予選では、成年男子カヤックシングル500㍍で2位となり、1位の選手が代表団監督に就任するため、繰り上げで初の全国出場が決まった。

同校カヌー部は毎年、全国大会に出場しており、広島さんが着任して以降、生徒3人が入賞している。選手として臨む大舞台を前に「世界レベルの選手も多く、相当な差があるかもしれないが、せっかくの機会を楽しみ、自分に勝つつもりで戦いたい」と意気込んでいる。

（鹿野海人）

選手として初「自分に勝つつもりで戦う」

青森県で開催される国スポに出場する広島さん

北海道新聞社許諾 D2609-2709-00031929